

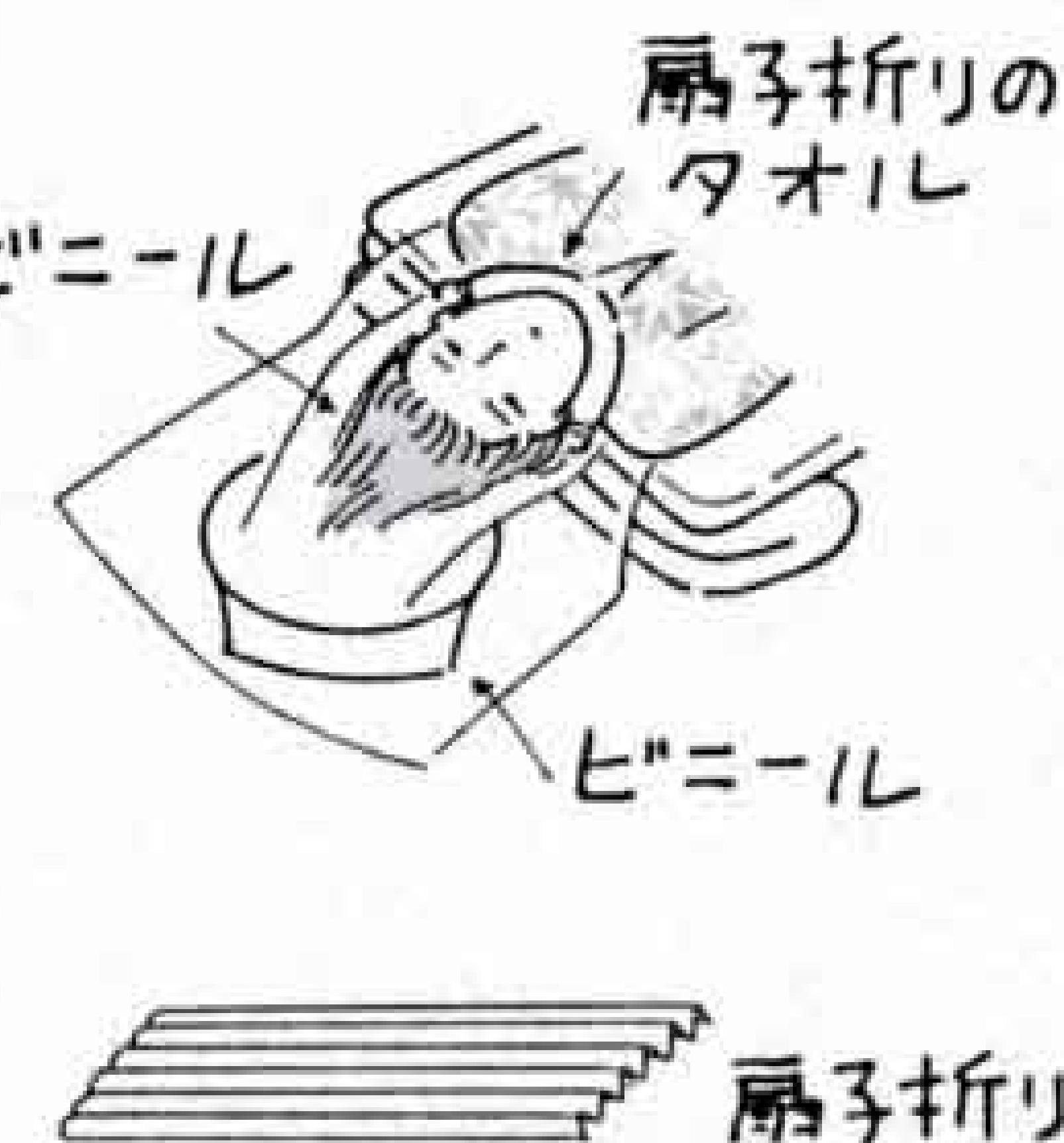
シリーズ

—家庭看護のコツ—

その9

髪を洗うと、気分がとてもさっぱりします。寝たきりでも、髪は汗や脂で汚れます。工夫して、手早く洗ってあげましょう。

- ①布団から、頭半分を出して段差をつくります。
- ②首にお湯が回らないように、扇子折りのタオルを巻きます。
- ③すすぎは、やかんが便利。



相談は…

保健婦人センター ☎64-8992



大川英子さん
☎52-12825

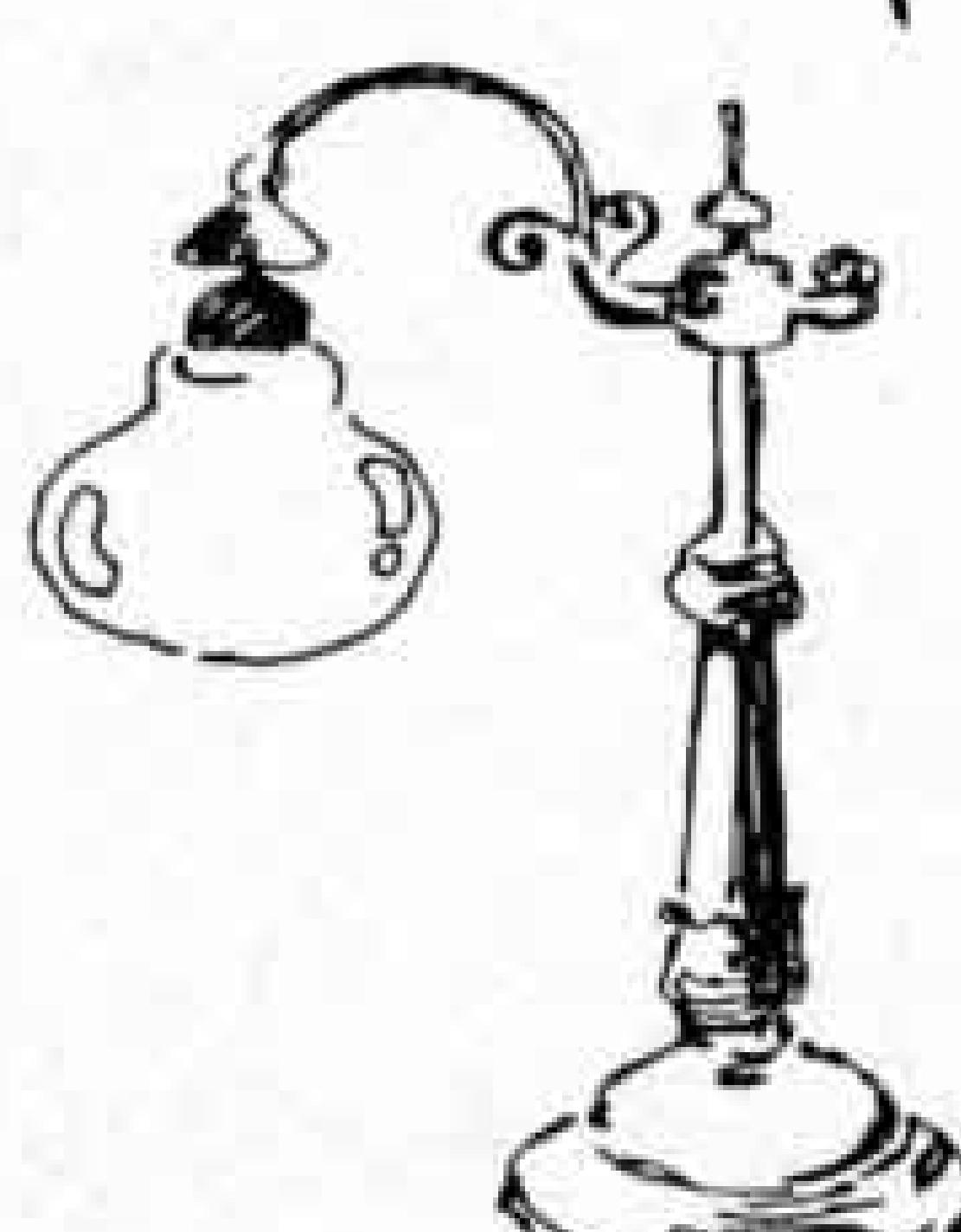
あなたの生活便利メモ ⑯
灯火親しむの候、秋も深まってくると、ふだん忙しくて本を読めない人でも、なんだか本を手にしあになりませんか。市内には、中央、東、西、富士文庫と四つの図書館がありますが、規模の大きさを誇るのは中央図書館。司書の大川英子さんが、ご案内します。

私のいる郷土資料室には、七千冊以上の本があります。皆さんのがらゆる要望にこたえられるよう、製紙会社にお勤めの人が、紙の原料や機械について調べたいからと見えますし、就職活動の学生さんも、ぜひおいでください。私も、しっかりと勉強しておきますから」

こちら編集室

もしも、私に男の子がいたら、5歳までは、なめるようにかわいがっちゃおう。中学生になったら、パンツと靴下くらいは自分で洗わせる。そして、結婚——。子供が生まれたら、一日最低2

あなたの生活便利メモ ⑯
郷土資料室をご利用ください



冊以上の本があります。皆さんのあらゆる要望にこたえられるよう、郷土史や静岡県史はもちろんのこと、人名辞典や年鑑もそろえてあります。

ります。

製紙会社にお勤めの人が、紙の原料や機械について調べたいからと見えますし、就職活動の学生さんも、ぜひおいでください。私も、しっかりと勉強しておきますから」

回のオシメ交換。ふだん元気な女房が寝込んだときが、腕の見せどころ。「ゆっくり休め。飯とみそ汁くらい俺がつくる」なんて言える男に育てたい。あ、男たちよ！(久しぶりに寝込んだ妻)

きうち
今泉1丁目の木内せんさん(82歳)の家は、昭和43年ころまでかじ屋さんでした。かじ屋さんの大切な道具である「ふいご」を寄贈していただいたので、今回はこのお話をします。

木内せんさん(今泉)



ふいごは、木製です。縦が一トロ、横が三十センチの長方形の箱で、高さは五十センチあります。横についている取っ手を、押したり引張ったりして箱の中

風を送る、簡単な送風機です。かじ屋さんで

は、火をおこすのに使

つと我慢して仕事をしました。

せんさんの夫の徳義さんは、「笑つてた

ら、笑つたような仕事になってしまふ

仕事にとても厳しい人。だから、農家の人们

たちはその腕を見込んで、遠くからお弁当持参で農具を直しにやって来たそうです。

木内さんの家では、かじ屋の神様「金山彦神」を、毎年十二月八日に祭っています。

かじ屋のふいご

木内さんの家には内弟子が三人いましたが、戦争になつて内弟子がいなくなると、せんさんもかじ屋の仕事を手伝いました。ふいごで火をおこしたり、金づちでくわや草刈りがまをたたいたり。そんなとき、火の玉が飛んで来て「熱いなんてもんじゃあなかつた」そうですが、鉄の板に鋼をつけてたたくのは一瞬の勝負。熱いのは、ぐ

いました。

でないと無理な仕事。最後にニスを塗って仕上げますが、一日三頭が限度だそうです。

馬は、長寿にあやからうと、もらっていく人がとても多いそうです。

遊々タイム ⑯

【紙細工】

あきら
比奈の清水焯さん(90歳)は、紙細工の名人。新聞と一緒に入ってくる広告の紙を利用してつくる馬は、ちよつとした芸術品。色とりどりの鞍や手綱をつけた馬がずらっと並ぶと、それはきれいです。

清水さんが馬をつくり始めたのは、3年くらい前。動物好きですから、馬の体型はぴったり決まっています。「材料は、ただだから」と笑いますが、手先が器用

